資料３

産業振興マスタープラン後期計画の考え方

中期計画から継続

【目指す将来像】

地域に根ざし、みんなに必要とされる産業が育ち、育てるまち　西東京

【目標】

『業（ぎょう）』として収益を上げ、市の財政に貢献するとともに、雇用を生むという効果

産業の『多面的な役割』を活かして、市民生活の安心を支えるという効果

『地域の顔・イメージ』をつくり、地域の価値や市民の愛着を高める効果

【市内産業の現状と課題の把握】

(1) 国・都の動向や統計データ

(2) 中期計画の進ちょく（調書による分析）

(3) 市内事業者や各種団体等に対するヒアリング調査

(4) 消費者（エンドユーザー）調査

【取組みの方向性（案）と事業（例）】

方向性１　持続可能な「農」が共生するまちをつくる

（農業）

農業・農地の持つ多面的な機能や、まちの貴重な資源としての価値を市民に認識してもらうとともに、農業が『業』として維持・発展していくための多角的な支援策を講じ、西東京市らしい都市と「農」が共生し続けられるまちを目指す。

農地の多面的機能の活用
- 農業交流拠点の利活用の推進
- 災害協力農地の拡大
- 農業交流事業の展開　など

販売力向上を目指した農業経営の推進
- 農業普及啓発プロジェクトの活用
- 直売所の魅力充実の検討
- 緑のアカデミー事業の実施
- 農業体験農園の推進　など

方向性２　多様な「しごと」が生まれ循環するまちをつくる

（商業・サービス・ものづくり）

経営を担う人材育成や事業者間マッチング等により、事業を継続・発展できる経営環境を整えるとともに、活発化している起業・創業をさらに推進し、多様化する就労ニーズにも応えられる「しごと」があるまちを目指す。

経営基盤の強化
- 経営（営業）力の強化に向けた各種セミナーの実施
- 事業融資あっせん制度の実施　など

新たな「しごと」の創出
- 女性の働き方サポート推進事業
- チャレンジショップ事業の実施
- 創業に関する相談・助言の実施　など

方向性３　身近な「商店街」が暮らしを支えるまちをつくる

（商店街）

商店街と地域との連携を図りながら商店街の新たな価値を創造し、地域コミュニティの核や日常生活の拠点としての役割を発揮していくとともに、消費者が利用したくなる多くの個店を創出し、にぎわいのある「商店街」があるまちを目指す。

運営環境の整備
- 消費者ニーズの調査・研究
- 商店会連絡会議の開催　など

新たな価値の創造
- 商店街便利度向上事業の実施と結果の活用
- 駅周辺エリアごとの一体的な商店街振興の支援についての調査・研究
- 空き店舗活用の支援　など

方向性４　魅力ある「西東京市ブランド」が輝くまちをつくる

（横断的視点）

多様な事業者、市民、地域等の連携を図りながら、情報発信、イベント開催、観光まちづくりの推進等に取り組む。また、様々な資源を活かした「西東京市ブランド」を生み出し、市内外にＰＲすることで、人が集まるまちを目指す。

西東京市ブランドの情報発信・PR
- 一店逸品事業の推進
- 産業ニュース等の発行
- めぐみちゃんメニューの推進　など

新たな連携の創出
- 西東京市ブランドづくりプロジェクトの推進
- 産業振興戦略会議の開催
- 事業者間マッチングの支援　など

イベント開催によるにぎわいづくり
- 商店会を中心とした地域、市民団体等との連携によるイベントの実施　など

観光まちづくりの推進
- 観光振興に関する近隣市との連携　など